

＜エコポリスセンター 地域エコロジー講座 詳細メニュー＞

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数・実施場所については、三密（密集・密接・密閉）を避ける対策を実施の上、お申し込みください。参加者はマスク着用、手指消毒等、新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力ください。また、メニューによってはオンライン講座も実施しております（時間短縮および内容に一部変更あり）。ご希望の方はご相談ください。

No.	27	主な対象	小学4年生以上向け（あいキッズ、寺子屋など） 一般区民向け（町会・自治会・サークルなど）
タイトル	水となかよし～ゲーム「水の旅」と、水力発電器を作ろう～		
テーマ	身近な自然、エネルギー	形式	講義＋ゲーム＋工作
所要時間	1時半～2時間	人数	10～40名
推奨 実施時期	通年		
講師・費用	エコポリスセンタースタッフ以外の専門講師（NPO法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア）	講師派遣数	2～4名
ねらい・内容	■ねらい 私たちの命を支える水は、どこにどんなすがたで、存在し、地球上をめぐっているのか、水の粒になって旅をするゲームを行う。楽しみながら、水の大循環を学ぶ。水力発電実験ーペットボトルで、羽を作り、LED電気付きモーターに羽を取り付けて、水道水で発電できるか各自実験して、水の力を感じる。 ■内容 ＜水の粒の旅＞ ・会場の周りに設定された、9つの場所の紙のサイコロを振って、サイコロが指示したエリアを次々に訪ね歩く。1か所で踏みとどまる場合や、どんどん変わったエリアに動いていく場合があり、エリアについたら、シールを取ってカードに貼り付け、終了したら着席し、水の粒の旅のお話を作る。時間の範囲で、発表。 ＜紙芝居＞ 「水の子チャプの決意」の読み聞かせ。水不足のため、中止になった学校のプールの再開を目指して、水の子チャプがおじいとおばあに会いに行って、雨を降らせてくれるように頼む、ぼうけん物語。旅の中で、水を利用した様々な道具や施設を知る。 ＜水力発電器づくり＞ ・各自、ペットボトル350～500mLを半分に切る。図を見て、4か所の切り込みで羽を折り、モーターにキャップを取り付ける。水道の水を強めに羽に当てると、LED電気が青・赤のどちらかの色でつく。時間がある人は、羽にもようをつける。		
依頼元にご用意いただく材料等	①紙などの敷物（作業台に敷く） ②はさみ ③ペットボトルー四角形のボトルが切り込みやすい。350～500mLのもの。 ④油性マジックセット（1グループに1つ） ⑤雑巾（実験中、水が跳ねるため、周囲を拭く。） ⑥筆記用具 ⑦多少、濡れてもよい服装 ⑧タオルハンカチ	講師側準備物	①LED電気付きモーター、人数分 ②紙芝居「水の子チャプの決意」 ③「水の旅」ゲームのセットとシール ④「水の旅」ワークシート（旅の流れを貼っていく） ⑤掲示用のセロハンテープや、養生テープなど
依頼元に必要な設備・機材	①水道栓5～6人に1か所、30人なら5か所など。 ②スクリーン・プロジェクター・PC・延長コード ③各自作業する机と椅子。あるいは、共同作業用テーブルと椅子。	実施場所	室内で人数が密にならない広さの会場。別室に水道があるところ
依頼元必要スタッフ数	6名グループにつき1名が望ましい（要相談）		
打ち合わせ	【対応時間】9時～17時 ・電話かメールで連絡がとれるようにお願いいたします。NPO法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲアのスタッフからご連絡差し上げます。場合によっては直接会場で下見・打ち合わせをさせていただきます。		
その他	講師謝礼につきましては、エコポリスセンターにて負担いたします。 ★確定した【参加人数・班人数】を開催10日前までにご連絡ください。		